

令和7年7月10日
病虫害防除所

報道関係者 各位

農作物有害動植物発生予察情報（注意報第3号）を発表しました

巡回調査の結果、おうとう（さくらんぼ）の褐色せん孔病が、多発した前年より多く発生しています。今後の発病の拡大を防ぐため、適切な防除対策が必要なことから、下記のとおり注意報を発表しました。

記

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 注 意 報 | 第 3 号 |
| 2 対 象 作 物 | おうとう（さくらんぼ） |
| 3 対象病虫害 | 褐色せん孔病 |

おうとうの褐色せん孔病は、6月頃から発病葉が確認され、7月上旬の雨よけ被覆の除去後から短期間に増加し、多発すると葉が黄変し早期に落葉する病気です。おうとうの葉は、通常11月頃から落葉しますが、早期に落葉してしまうと、翌年の花芽が充実しにくくなります。

おうとうの高品質安定生産には、健全な葉を保ち樹体に十分な養分蓄積を図り、充実した花芽をつくることが重要です。早期落葉を防止するため、収穫終了後も褐色せん孔病の防除対策を徹底する必要があります。



問い合わせ先【病虫害防除所】 所 長 梁瀬 正裕
業務課長 上野 清
電 話 023-644-4241
【広報監】 農林水産部次長 小泉 篤